

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線：7133)

2目 計画調査費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (繰入金)	一般財源	
(新) 騒いでも大丈夫！はじめてのクラシック・親子体験事業	23,949	0	23,949			23,949		
トータルコスト	24,756千円 (前年度0千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金業務、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							

事業内容の説明

1 事業の概要

0歳から3歳まで、4歳から小学生までをそれぞれ対象としたクラシックコンサートを行い、オーケストラへの興味を喚起し次世代鑑賞者の育成を図る。

また、この事業を契機として子育て支援に関係する団体間の関係強化を図る。

※ 本事業の財源については、鳥取県安心子ども基金繰入金を活用する。

(1) コンサートの内容

ア 0歳から3歳までを対象とするコンサート

◇出演者：日本サロンコンサート協会

◇会場及び入場予定者数：東、中、西部の各会場で親子約50組

イ 4歳から小学生までを対象とするコンサート

◇出演者：関西フィルハーモニー管弦楽団

◇会場及び入場予定者数：東、中、西部の各会場で親子約500組

(2) 事業主体

子育て支援に取り組んでいる団体を主体とする実行委員会

2 平成22年度事業費

(単位：千円)

区分	事業費	内容
騒いでも大丈夫！はじめてのクラシック・親子体験事業補助金	23,949	<p>(1) 0歳から3歳までを対象とするコンサート 補助金：1,181千円 (B-A) &lt;収入&gt; 174千円…A 入場料 150千円 (大人500円、子ども無料) その他 24千円 &lt;支出&gt; 1,355千円…B 公演料 995千円 会場使用料 21千円 事務費 339千円</p> <p>(2) 4歳から小学生までを対象とするコンサート 補助金：22,768千円 (D-C) &lt;収入&gt; 1,500千円…C 入場料 1,500千円 (大人500円、子ども無料) &lt;支出&gt; 24,268千円…D 公演料 18,856千円 会場使用料 1,077千円 事務費 4,335千円</p>

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) BeSeTo演劇祭（鳥取公演）開催支援事業	2,750	0	2,750				2,750	

トータルコスト 3,557千円（前年度0千円）[正職員：0.1人]

主な業務内容 補助金事務

工程表の政策目標（指標） アーティストリゾートの推進

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

中国・韓国・日本の3カ国による国際演劇祭（BeSeTo演劇祭）は、1994年から3カ国の持ち回りで開催されている。2010年は日本で開催予定であり、東京をメイン会場としながら、一部の公演を鳥取でも開催する予定であり、その開催経費について支援を行うもの。

※ BeSeTo演劇祭とは、

1994年に韓国・中国・日本の代表的演出家達により立ち上げられた3カ国による国際演劇祭。韓国・日本・中国の順に3カ国で開催されており、第17回となる2010年は日本で開催される予定。

なお、BeSeTo演劇祭は、北京(Beijing)、ソウル(Seoul)、東京(Tokyo)の頭文字をとって名づけられた。

2 主な事業内容

BeSeTo演劇祭実行委員会（鳥取公演）の開催経費のうち、海外・県外劇団の招聘のための交通費・滞在費相当額を対象として助成  
補助金 2,750千円

3 BeSeTo演劇祭の概要

【全体概要】	
期 間	2010年6月中旬～7月中旬
公演会場	[東京] 新国立劇場、こまばアゴラ劇場、アトリエ春風舎 [静岡] 静岡県舞台芸術センター [鳥取] 鹿野・鳥の劇場
主 催	第17回 BeSeTo演劇祭実行委員会
出演団体	[日本] SCOT、青年団、鳥の劇場、公募若手劇団 [中国・韓国] 各数団体
概算事業費	110,000千円
【鳥取公演概要】	
公 演 日	2010年7月24日(土)、25日(日)
会 場	鹿野・鳥の劇場
上演団体	NPO鳥の劇場、韓国の劇団1団体、公募若手劇団(日本)1団体 計3団体
概算事業費	8,260千円

4 BeSeTo演劇祭招聘の経緯

「鳥の劇場」主宰の中島氏が BeSeTo演劇祭日本実行委員会の委員に就任していることから、国際的に認知された BeSeTo演劇祭の一部として位置づけられた鳥取公演の招聘が可能となった。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (繰入金)	一般財源	
(新) 青少年のための弦楽入門支援事業	2,122	0	2,122			2,122		
トータルコスト	2,929千円（前年度0千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	連絡調整、物品購入事務等							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>弦楽器を（財）鳥取県文化振興財団に無償貸付した上で、子どもを対象にボランティアで弦楽器の指導を行う団体に対して無償で弦楽器の貸付等を行う「子ども文化スクール支援事業」を同財団に委託して実施しているが、西部地区の団体に貸し付ける弦楽器の絶対数が不足しているため、必要な弦楽器を購入する。</p> <p>※ 本事業の財源については、鳥取県安心子ども基金繰入金を活用する。</p>								
2 平成22年度事業費								
				内容		予算額		
				チェロ、ヴァイオリン、ヴィオラ等の弦楽器を購入		2,122千円		

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7839)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)平城遷都 1300 年祭参加事業～"万葉有終の郷(さと)・鳥取情報発信"	3,151	0	3,151				3,151	
トータルコスト	4,765千円(前年度0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	委託契約事務、展示等の企画運営、出演者・関係機関等との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ(鳥取の優れた芸術文化、文化資源の情報発信)							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
鳥取自動車道の開通により、関西圏域からの交通アクセスが大幅に向上することから、万葉集最後の歌の故地・鳥取を"万葉有終の郷(さと)"として情報発信し、観光客増加に結びつけるため、奈良県で開催中の平城遷都 1300 年祭「平城宮跡会場」(奈良市)に出展・出演する。								
2 主な事業内容								
(1) 平城遷都 1300 年祭の概要								
会 期 等	「平城宮跡会場」(奈良市:メイン会場) 4月24日～11月7日 (その他に奈良県内各地で各種イベントを通年実施)							
出展施設等の概要	(交 流 ホール) 展示面積 365 平方メートル。小ステージ、映像・音響等設備あり。 (まほろばステージ) 観客席 270 席。屋外立ち見含め最大 1,000 人鑑賞可能。							
(2) 鳥取県の出展・出演概要(予定)								
テ ー マ	”万葉有終の郷・鳥取”の魅力をお届けします!							
期 間	(交 流 ホール) 平成22年6月27日(日)・28日(月) (まほろばステージ) 平成22年6月27日(日)のうち1時間程度							
内容(案)	<p>ア 交流ホールでの展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都(関西)から下向した2人の国司、大伴家持(因幡)、山上憶良(伯耆)の足跡をたどる形で、修験道の三徳山、霊峰大山や、大陸との交流の舞台・日本海の形成過程を色濃く残す山陰海岸(世界ジオパークネットワーク加盟申請中)の魅力等をパネル等で紹介。</li> <li>小ステージでは、和洋楽器のコラボレーション演奏の他、平成21年度制作の万葉有終の郷PRテレビ番組映像(本県出身音楽デュオ、門藤(かどふじ)出演)をリピート上映。</li> <li>とっどりの美味珍味、「食のみやこ鳥取県」の物産販売。</li> </ul> <p>イ まほろばステージへの出演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和洋楽器による「浦富八景」の演奏、因幡の傘踊り実演、奈良鳥取県人会参加のじゃんしゃん一斉傘踊り、鬼太郎など県ゆかりのキャラクターによる「まんが王国とっとり」をPRするパフォーマンス等を展開。</li> </ul>							
3 平成22年度事業費								
	会場運営・展示物作成・出演者派遣等業務委託料	1,995千円						
	出演者報償費等・標準事務費	1,156千円						
4 これまでの取組状況								
<p>昨年は万葉集最後の歌から1250年目に当たり、全国万葉フェスティバル in 鳥取の開催支援、万葉有終の郷PRテレビ番組の全国放送等を実施して情報発信に努めた。また、全国万葉フェスティバル in 鳥取会場に「せんとくん(マスコットキャラクター)」を招き、平城遷都 1300 年祭のPRを実施するなど、奈良県との連携も深めた。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)アーティストリゾート創造事業（アーティストインレジデンス事業）	2,900	0	2,900				2,900	
トータルコスト	4,514千円（前年度0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	関係市町村・団体等調整、実行委員会参画、補助金事務							
工程表の政策目標（指標）	アーティストリゾートの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

岩美町では、旧岩美病院をアーティストの作品制作のアトリエとして、旧医師公舎をアーティストの滞在施設として整備し、アーティストインレジデンス（滞在型現地制作）ができる環境整備がなされたところ。

平成22年度には、県、町、地元住民との協働による実行委員会を設置し、自然をテーマとした展示会をアーティストインレジデンスにより開催することとしており、その開催経費の一部を支援する。

2 主な事業内容

事業内容	○レジデンス（アーティストが岩美町に滞在し、作品創作現場を公開） ○展示会（テーマは山陰海岸ジオパークなどにつながるような自然を想定） ○ワークショップ（レジデンス期間中に学校と連携して実施）
実施主体	アーティストインレジデンス実行委員会（仮称） 〔体制〕 アーティスト（作品創作・交流会、ワークショップ実施等） 地元住民（創作活動支援ボランティア等） 岩美町（施設無償貸与、事業費支援、事務局運営） 鳥取県（事業費支援）
概算事業費	3,000千円 〔財源内訳〕 鳥取県 2,900千円（レジデンス・展示会の開催経費） 岩美町 100千円（ワークショップ開催経費）

<参考>

岩美町は旧岩美病院及び旧医師公舎の改修を実施。

H19 旧岩美病院電気設備改修 400千円

H21 旧医師公舎改修 2,500千円

3 これまでの取組状況、改善点

平成22年3月には、文化庁の地域文化芸術振興プラン推進事業を活用して、岩美町に国内外からアーティストを招聘して、国際現代美術展を開催することとしている。

アーティストが定期的に岩美町に滞在し創作活動を行うなど、アーティストインレジデンスを数年継続することで、将来的に岩美町へのアーティストの移住・定住につながる取組となることを期待。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 歌い継がれる 童謡・唱歌のふるさと と体感事業	6,144	0	6,144			(繰入金) 6,144		
トータルコスト	6,951千円（前年度0千円） [正職員：0.1人]							
主な業務内容	委託契約事務、連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ							

事業内容の説明

1 事業の概要

保育園、幼稚園、小学校及び特別支援学校等に在学（園）している子どもたちが、郷土出身の音楽家の作曲した童謡・唱歌に触れることにより、郷土に対する誇りや愛着を育てるため、次の事業を行う。

○平成16年2月の改訂後、5年を経過した『童謡・唱歌のふるさと鳥取—こどものうた名曲集—』（昭和63年初版）及びCDを改訂し、保育園、幼稚園、小学校及び特別支援学校等に配布する。子どもが郷土出身の音楽家が作曲した童謡・唱歌に親しむよう活用していただく。

<配布部数>

配布先（所属数）	冊子総数	CD総数	備 考
保育園（204）	4,488	1,020	
幼稚園（40）	1,240	200	
小学校（149）	7,003	1,490	
特別支援学校（9）	180	90	
市町村（39）	613	730	図書館、公民館含む
わらべ館（1）	100	100	
その他	376	370	
計	14,000	4,000	

※ 本事業の財源については、鳥取県安心子ども基金繰入金を活用する。

2 平成22年度事業費

（単位：千円）

区 分	事業費	内 容
歌集・CD制作委託	6,144	(1)歌集作成 4,984千円（356円×14,000冊） (2)CD作成 1,160千円（290円×4,000枚）

3 事業主体（委託先）

「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アートスタート「次世代鑑賞者育成事業」	2,300	2,590	△290				2,300	
トータルコスト	3,914千円（前年度4,247千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	補助金交付業務、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標（指標）	きっかけ作り、人材育成の取組み							

事業内容の説明

1 事業の概要

0歳から小学校入学前の乳幼児（以下「未就学児」という。）の豊かな感性と創造性を育むことを目的に、市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。

2 事業費

補助金 2,000千円（間接補助金、補助率：県1/2）  
事務費 300千円（情報交換会経費）

<補助事業の概要>

（単位：千円）

事業区分	事業内容	平成22年度以降の変更点等	(21年度) 予算額
アートスタート活動支援事業	市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体への助成	○団体への直接補助金から、市町村を通じて団体を支援する間接補助金へ移行。 ※団体自ら公演等を実施する場合は、鳥取県文化芸術活動支援補助金（次世代鑑賞者育成支援事業）で対応。	(2,000) 2,000
【新】情報交換会の開催	アートスタートに係る情報や課題等を共有し、県内の次世代鑑賞者育成に資するため、補助事業者及び市町村担当者等による情報交換会を開催	○アートスタート発信事業の廃止に伴い、アートスタートに係る情報や課題を共有するため。	(-) 300

<平成21年度限りで廃止する事業>

- アートスタート発信事業（21年度予算額 500千円）  
団体、市町村、県の間で情報共有を図る情報交換会の開催に組替え。
- アートスタート活動支援事業選定委員会（21年度当初予算額 90千円）  
アートスタート活動支援事業の間接補助金化に伴い、事業選定を市町村が行うため廃止。

3 これまでの取組状況

- 平成16年度からモデル事業を実施しており、近年では事業数や実施団体数など確実に伸びてきている。  

平成19年度	6市町村	4団体	10事業
平成20年度	8市町村	9団体	13事業
平成21年度	9市町村	10団体	17事業
- しかし、未実施地域への一層の取組や地域に密着した事業運営が行われる中で、日ごろ芸術・文化活動に積極的に参加しない家庭へのアートスタート事業の周知など、環境整備が課題とされた。
- 未就学児へのより積極的な働きかけが可能な市町村の関与が不可欠として、市町村間接補助金への移行を検討した。

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
鳥取県ジュニア美術 展覧会開催事業	10,482	10,729	△ 247				10,482																
トータルコスト	16,130千円（前年度16,529千円）[正職員：0.7人 非常勤職員：0.9人]																						
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式																						
工程表の政策目標 （指標）	きっかけ作り、人材育成の取組み																						
事業内容の説明																							
1 事業の目的・概要																							
児童・生徒の芸術創作活動に対する興味や意欲を高め、芸術文化の振興を図ることを目的とした第8回ジュニア美術展覧会を開催する。																							
2 主な事業内容																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 運営委員会・ 審査会開催</td> <td>634</td> <td>・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催</td> </tr> <tr> <td>(2) 開会式、表彰</td> <td>778</td> <td>・開会式及び表彰式の開催 ・将来性のある作品に特別賞を新設</td> </tr> <tr> <td>(3) 展示、巡回展</td> <td>6,554</td> <td>・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内3会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成</td> </tr> <tr> <td>(4) その他事務</td> <td>2,516</td> <td>・広報、グッズの作成等</td> </tr> </tbody> </table>									事業区分	予算額	事業内容	(1) 運営委員会・ 審査会開催	634	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催	(2) 開会式、表彰	778	・開会式及び表彰式の開催 ・将来性のある作品に特別賞を新設	(3) 展示、巡回展	6,554	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内3会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成	(4) その他事務	2,516	・広報、グッズの作成等
事業区分	予算額	事業内容																					
(1) 運営委員会・ 審査会開催	634	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催																					
(2) 開会式、表彰	778	・開会式及び表彰式の開催 ・将来性のある作品に特別賞を新設																					
(3) 展示、巡回展	6,554	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内3会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成																					
(4) その他事務	2,516	・広報、グッズの作成等																					
【参考】 第8回鳥取県ジュニア美術展覧会の概要（予定）																							
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>主 催</td> <td>鳥取県、鳥取県教育委員会</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>県内3会場を巡回</td> </tr> <tr> <td>会 期</td> <td>平成22年11月下旬～平成23年1月中旬</td> </tr> <tr> <td>部 門</td> <td>3部門（「絵画・デザイン」、「書写」、「写真」）</td> </tr> <tr> <td>表 彰</td> <td>知事賞、教育長賞、奨励賞、特別賞（新設）</td> </tr> <tr> <td>展 示</td> <td>審査の上、本展示では約1,400点の作品を展示予定</td> </tr> </tbody> </table>									主 催	鳥取県、鳥取県教育委員会	会 場	県内3会場を巡回	会 期	平成22年11月下旬～平成23年1月中旬	部 門	3部門（「絵画・デザイン」、「書写」、「写真」）	表 彰	知事賞、教育長賞、奨励賞、特別賞（新設）	展 示	審査の上、本展示では約1,400点の作品を展示予定			
主 催	鳥取県、鳥取県教育委員会																						
会 場	県内3会場を巡回																						
会 期	平成22年11月下旬～平成23年1月中旬																						
部 門	3部門（「絵画・デザイン」、「書写」、「写真」）																						
表 彰	知事賞、教育長賞、奨励賞、特別賞（新設）																						
展 示	審査の上、本展示では約1,400点の作品を展示予定																						



平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課 (内線 : 7 1 3 3)

2 目 計画調査費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
青少年のための弦楽入門講座開催支援事業	2,718	2,718	0				2,718	
トータルコスト	3, 5 2 5 千円 (前年度 6, 8 6 1 千円) [正職員 : 0. 1 人]							
主な業務内容	制度設計、周知説明、申請書の審査、補助金の支払い、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県における弦楽器活動者の裾野の拡大を図るため、弦楽器を始めて間もない青少年や未経験者を対象に弦楽器の魅力を伝える活動を行う実行委員会に対して経費助成を行う。

2 事業費 補助金 2, 7 1 8 千円

3 事業の内容

補助対象者	東部、中部、西部の各地区ごとにオーケストラ指導者、高校弦楽部等顧問、弦楽器指導者などで構成する実行委員会
補助事業	弦楽器に取り組む青少年の増加や鑑賞者の育成などを目的に、各地区実行委員会がニーズを踏まえ、自ら企画運営して行う事業
補助率	1 0 / 1 0 (限度額 各 9 0 6 千円)
補助対象経費	講師の招へいに要する経費 (謝金および旅費)、会場および備品借上料、資料購入費、打ち合わせに要する経費、広報宣伝費、その他必要経費

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課（内線：7 1 3 3）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
小学校における音楽ワークショップ体験モデル事業	2,529	2,400	129				2,529											
トータルコスト	3, 3 3 6 千円（前年度 3, 2 2 9 千円） [正職員：0. 1 人]																	
主な業務内容	モデル校の選定・実施調整、ワークショップ実施業務委託契約締結、委託料の額の確定、委託料の支払い																	
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み																	
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要</p> <p>芸術教育を通じ、児童が自ら考え・想像し・創作する力を育むことができるよう、小学校の通常の音楽の授業として、国内屈指のオーケストラ楽団員による音楽ワークショップを体験する機会を提供するとともに、モデル事業の実施を通じ、教員が通常の授業において芸術教育を実践していくための一助とする。</p> <p>2 事業費 委託料 2, 5 2 9 千円</p> <p>3 事業の内容</p> <p>音楽ワークショップの企画及び運営実績のある関西フィルハーモニー管弦楽団に業務を委託し、鳥取県と鳥取県教育委員会の共催事業として実施。</p> <table border="1" data-bbox="193 1462 1393 1686"> <tr> <td>モデル校数</td> <td>東部・中部・西部の各地区の小学校 1 校ずつ</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>1 校あたり 1 日に 3 回実施（学年単位又は低・中・高学年の 2 学年単位）</td> </tr> <tr> <td>1 単位時間</td> <td>4 5 分</td> </tr> <tr> <td>対象人数</td> <td>1 回あたりの児童数は 3 0 名から 6 0 名程度</td> </tr> <tr> <td>講師数</td> <td>弦楽器奏者を中心に 4 名程度</td> </tr> </table>									モデル校数	東部・中部・西部の各地区の小学校 1 校ずつ	実施回数	1 校あたり 1 日に 3 回実施（学年単位又は低・中・高学年の 2 学年単位）	1 単位時間	4 5 分	対象人数	1 回あたりの児童数は 3 0 名から 6 0 名程度	講師数	弦楽器奏者を中心に 4 名程度
モデル校数	東部・中部・西部の各地区の小学校 1 校ずつ																	
実施回数	1 校あたり 1 日に 3 回実施（学年単位又は低・中・高学年の 2 学年単位）																	
1 単位時間	4 5 分																	
対象人数	1 回あたりの児童数は 3 0 名から 6 0 名程度																	
講師数	弦楽器奏者を中心に 4 名程度																	

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
アーティストリゾート創造事業 (劇団付き劇場による地域創造事業)	7,000	7,500	△500				7,000									
トータルコスト	11,034千円 (前年度13,300千円) [正職員: 0.5人]															
主な業務内容	市町村・関係機関との連絡調整、運営委員会用務、補助金事務															
工程表の政策目標 (指標)	アーティストリゾートの推進															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要 本県の豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、IJUターンをされたアーティストや地域に根付いて高いレベルの芸術文化活動を行うアーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進する。</p> <p>2 主な事業内容 鹿野・鳥の劇場が「劇団付き劇場」として、地域の活性化の拠点、文化・観光資源としてさらに定着するよう、劇団、地元住民、鳥取市及び鳥取県等の協働により運営・事業実施する。</p>																
拠点	鹿野・鳥の劇場 (旧鹿野小学校・幼稚園)															
運営主体	鹿野・鳥の劇場運営委員会 (仮称) [実施体制・役割分担] ・NPO鳥の劇場 (委員会運営、事業全体の実施) ・いんしゅう鹿野まちづくり協議会 (地域体験事業等支援) ・鳥取市 (施設無償貸与、運営事業費一部支援) ・鳥取県 (運営事業費一部支援)															
実施内容	○鳥の演劇祭の実施 ⇒ 県民への鑑賞機会の提供 ⇒ 県内外への情報発信 >>> 特色ある観光資源 ⇒ 韓国等との交流 ○ワークショップ・出前講座 (劇団員、招聘アーティストによる出前講座・ワークショップ) ⇒ すそ野の拡大、教育分野への展開 ○周辺地域の体験事業 (三徳山・鹿野周辺の自然散策、紙すきなどの地域資源体験イベント) ⇒ 地域振興、観光への活用															
事業費	26,500千円 (概算) <財源内訳> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>文化庁・民間助成制度</td> <td>15,000千円</td> </tr> <tr> <td><b>鳥取県</b></td> <td><b>7,000</b></td> </tr> <tr> <td>鳥取市</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>入場料、協賛収入</td> <td>3,500</td> </tr> </table>								文化庁・民間助成制度	15,000千円	<b>鳥取県</b>	<b>7,000</b>	鳥取市	1,000	入場料、協賛収入	3,500
文化庁・民間助成制度	15,000千円															
<b>鳥取県</b>	<b>7,000</b>															
鳥取市	1,000															
入場料、協賛収入	3,500															
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アーティストリゾートを推進するため、平成20、21年度は、鳥の演劇祭開催事業として、県・市・鳥の劇場及び地元関係者等により実行委員会を設置し、鳥の演劇祭を開催した。これにより県民への芸術の鑑賞機会を提供しているほか、劇場周辺の地域資源の体験事業を実施するなど文化を中心とした地域活性化の拠点として定着してきている。</li> <li>22年度は、従来のイベント支援から「劇団付き劇場」として官民協働によるアーティストリゾートの拠点施設化を目指した取り組みとして実施する。</li> </ul>																

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第54回鳥取県美術 展覧会開催事業	14,834	14,894	△60			(諸収入) 1,400	13,434	

トータルコスト 25,322千円（前年度25,665千円）[正職員：1.3人 非常勤職員：1.3人]

主な業務内容 運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式

工程表の政策目標  
(指標) 裾野の拡大と頂点の伸長、上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、観賞機会を提供し、美術、文化の振興に寄与する第54回鳥取県美術展覧会を開催する。

2 主な事業内容

事業区分	予算額	事業内容
(1) 運営委員会・ 審査会開催	2,391	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催
(2) 開会式、表彰	2,561	・開会式及び表彰式の開催
(3) 展示、巡回展	8,702	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内4会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成
(4) その他事務	1,180	・広報、グッズの作成等

【参考】 第54回鳥取県美術展覧会の概要（予定）

主催	鳥取県、鳥取県教育委員会
会場	県立博物館、倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館、米子市美術館、日南町美術館
会期	平成22年9月～11月（上記会場を巡回）
部門	8部門（洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン）
表彰	県展賞、奨励賞
展示	審査の上、約470点の作品を展示予定

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
2目 計画調査費

文化政策課 (内線：7234)  
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第8回とりアート (鳥取県総合芸術文化祭) 開催事業	38,014	50,306	△ 12,292				38,014	
トータルコスト	67,059千円 (前年度94,217千円) [正職員：3.6人]							
主な業務内容	総合芸術文化祭の実施に向けた各委員会の開催及び連絡調整、広報、予算執行管理							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県内の文化活動のすそ野を拡大するとともに、地域に根ざした創造性の高い文化芸術活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的に、県民自らの手による文化芸術の祭典として開催される「第8回とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。								
2 主な事業内容								
(1) 期 間 平成22年9月県展開幕日～11月末日(予定)								
(2) 場 所 とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子市文化ホールなど県下全域								
(3) 実施主体 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会								
(4) 主な事業内容								
区 分		内 容						
【メイン事業】 「新・八賢士の世界」(仮称) [予算額 10,533千円]		◇地域に密着した題材や人材を活用して質の高い作品を提供するため、2年間かけて作品を制作する。 ◇22年度は、準備としての舞台制作を(財)県文化振興財団に委託。(23年度本番：倉吉未来中心大ホール)						
【アートマネージャー育成事業】 [予算額 5,365千円]		◇鑑賞者に魅力的な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、県内の文化芸術活動を支える人材「アートマネージャー」の発掘と育成をめざす。						
キラリ☆アートプロジェクト		全県より2事業の企画を公募し、公開審査により選定。採択された企画を実行委員会が提案者に委託し実施。						
アートマネジメント研修会		講座3回・研修大会1回						
各地区へのアートマネージャーの配置		実践できる活躍の場を提供するとともに、各地区事業の充実と円滑な実施のため配置						
【各地区企画運営委員会自主企画事業】 [予算額 7,010千円]		◇各地区会場において、県民が気軽に文化芸術を体験、鑑賞できる機会を提供し、文化芸術のすそ野の拡大を図る。 また、会場外にも出向き文化芸術普及活動も行う。 ア 公募により県民が実施する参加体験型事業 イ 各地区企画運営委員会が自ら行う事業						
【広報費、運営事務費】 (実行委員会、評価委員会及び事務局運営費) [予算額 9,198千円]		◇各地区企画運営委員会及び全体広報 ◇市町村の地区企画運営委員会への参加と広報紙を活用したPRの連携 ◇実行委員会、評価委員会及び事務局の運営に要する経費						
【事務局移管に係る人件費】 [予算額 5,908千円]		◇24年度までに事務局を段階的に県から(財)鳥取県文化振興財団に移管する。 ・22年度：中部・西部地区企画運営委員会事務局 ・23年度：東部地区企画運営委員会事務局 ・24年度：県総合芸術文化祭実行委員会事務局						
※アートマネージャーとは：文化芸術に関する事業において、円滑な事業実施をプロデュースし、地域を巻き込み、鑑賞者と活動者双方へ働きかけながら、人材発掘やスタッフ・出演者等のコーディネーターなど、事業に係る幅広い業務を担う人材のこと								
3 これまでの取組状況、改善点 総合芸術文化祭の更なる浸透のため、愛称を「とりアート」と決定しロゴマークも作成するなど広報活動に努めている。事業においても、メイン事業はとりアートの核として定着しつつあり、各地区企画運営委員会主催事業も、アートマネージャーを設置し、地域と密着した各地区独自の活動も充実しつつある。除々にではあるが若手アートマネージャーも増えつつある。 ※とりアート21年度観客数(延べ人数)：39,718人(20年度：31,566人) 22年度以降メイン事業は、県内全域の人材の有効活用により、十分な準備期間を設け、質の高い作品を2ヵ年かけて制作することとした。								